

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 121

**エントリー学校名：** 神奈川県立麻溝台高等学校

**活動名：** 麻高探究ワンチーム大作戦  
 ～生徒の未来を輝かせる協働の和～

**解決すべき課題：** 総合的な学習の時間が生徒の未来をより良くするための活動になっていないという実態

総合的な学習の時間での活動は「キャリアサポートグループ グランドデザイン」に基づいて実施されていたが、校長の目指す生徒像の具現化を描いた「麻溝台高等学校グランドデザイン」との連動性が弱く、目的にずれがあった。そのため、教員間でも総合的な学習の時間が本来の目的を果たす時間として理解されず、さらには活動内容もキャリアサポートグループのみで検討していた。その結果、生徒の多くも、総合的な学習の時間の目的を理解できておらず、自分の未来をより良くするための時間ではなく、ただ受身に指導を受けるだけの時間になってしまっていた。さらに、「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」への移行も迫っていた。

**目標・方針：** 総合的な探究の時間が生徒の未来をより良くするための活動になるよう協働の和を創造する

方針①：43 期生のアンケート結果から見出された課題を踏まえて、「麻溝台高等学校グランドデザイン」と「キャリアサポートグループ グランドデザイン」が連動するように作成し、本校の探究の目的を設定する。  
 方針②：探究プロジェクトチームを発足し、方針①に根ざした探究の目的を達成するための内容を創造する。  
 方針③：探究の目的を共有し、より良い実践ができるよう学年や連携大学等と検討できる場面を設定する。  
 方針④：生徒との探究の目的共有、生徒の未来をより良いものにするための探究活動を実践ために、探究プロジェクトチームと学年がワンチームとなるような働きかけを生む。

**活動内容**

①：アンケート結果（表 1）を分析し、目的を可視化できる 2 つのグランドデザイン（図 1・2）を作成。  
 ②：探究プロジェクトチーム（写真 1）で協働し、進路活動の観点も踏まえた指導計画、教材等を開発。  
 ③：学年ごとに事前に検討会を実施し、総合的な探究の時間で取り扱う内容をブラッシュアップ。  
 ④：探究プロジェクトチームと学年がワンチームとなって協働し、ブラッシュアップした内容を実践。

**活動の成果**

①：トップダウンではなくボトムアップで、教員や生徒と、校長の「目指す生徒像」を共有化することを実現！  
 ②：複数の教科・分掌グループでメンバーを編成することで、多彩で魅力的な企画と運営が実現！  
 ③：事前の検討会を必ず設け、疑問や提案など学年団の意見をもとに改善することで協働力アップ！  
 ④：ブラッシュアップした内容により、多くの生徒が探究の目的を理解し、活動できた（写真 2 / 表 2・3）！

**アピールポイント（アイデアや工夫）**

①：グランドデザインの「目指す生徒像」を出発点とすることで、探究活動を学校の特色として創造できる。  
 ②：プロジェクトチームのメンバーを固定化せず経験者や新メンバーを年々増やしていくことにより、探究活動の内容の引継ぎながらも新しい視点を踏まえてアップデートでき、より魅力的な活動が可能になる。  
 ③：プロジェクトチームが教材開発等を担当することでキャリアサポートグループや各学年の負担も軽減できる。  
 ④：自分の好きや興味・関心を探究テーマにしているため、生徒のほとんどは受身にならず主体性が育まれる。

### 1. 解決すべき課題の Before・After

(表 1) 43 期生 3 年終了時に実施したアンケート結果

■ 総合的な学習の時間は有意義なものでしたか？

とても良い 0%  
 良い 8%  
 悪い 58%  
 とても悪い 34%

(表 2) 46 期生 1 年終了時に実施したアンケート結果

■ 総合的な探究の時間は有意義なものでしたか？

とても良い 14%  
 良い 73%  
 悪い 13%  
 とても悪い 1%

43 期生の主な評価コメント

- ・仕事とが興味が広まること、生き方を知りたかった。
- ・自分の好きなことができる時間がいいと思います。
- ・自分の意見を出し合える場面があれば学ぶ事も多そう。
- ・自分の夢について考えることをしたかった。

46 期生の主な評価コメント

- ・自分の興味のある事だったので、進めるのが楽しかった。
- ・同じ探究テーマの人と意見交換ができ理解を深められた。
- ・幼少期から疑問だった事を高校生になった今、様々な視野で探究できた事がとても有意義だった。

### 2. 課題の解決に向けた主な取り組み～「総合的な探究の時間」の創造から実践まで～

① 学ぶ目的と教える目的の共有化を図るために 連動性の強い 2 つのグランドデザインを作成。

(図 1) グランドデザイン

校長

(図 2) キャリア・グランドデザイン

生徒

② 探究で学ぶ内容と教える手法を開発するために 推進力を生み出す探究プロジェクトチームを発足。

(写真 1) コロナ禍で探究の動画配信をしている写真

【チーム編成】  
 各学年にプロジェクトチームを置き、プロジェクトリーダーが全学年の企画・運営を総括し、全学年が同じ目的の達成に向けて探究活動できている。

(写真 2) 探究発表の風景

90%が好きや興味、得意で文理選択！

(表 3) 47 期生 1 年次文理選択後のアンケート

何を基準に文理選択を選びましたか？

好きや興味 8%  
 得意や苦手 28%  
 なんとなく 62%  
 その他 2%

③ 探究活動をより良いものにするために 学年ごとに週 1 回の検討会を設定。

- 進路活動との接続を検討！
- 探究活動の内容と指導法を検討！
- 連携大学との連携活動を検討！

④ 学年で改善した内容を実践するために 学年が「ワンチーム」となり全員指導。

- 「チャレンジ+1」計画の実践
- 「自己探究」の実践

受験方法を増やす！  
 受験回数を増やす！  
 チャレンジ校への挑戦！

総合型選抜対策  
 好きや興味・関心  
 「幸せ」づくり

**探究プロジェクト + 学年 = One チーム**

連携大学

【プロジェクトチームの感想】  
 面白い！/手ごたえがある！/自分たちも探究できている！/三者面談も探究活動レポートをもとに具体的な進路の話ができた！等

麻溝台高校が目指す生徒像：多様性を認め合い、主体的に行動し、より良い未来を生きる人